

令和7年度 長吉六反中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習調査結果

<国語>全国平均と比較して、「話すこと・聞くこと」の領域は—0. 7%と差が小さかったが、「書くこと」の領域は—8. 8%、「読むこと」の領域は—9. 0と差が大きかった。昨年度の結果とは対照的な結果となった。書くこと、読むことの力をつける必要がある。

<数学>全国平均と比較して、「図形」の領域は—3. 7、「関数」の領域は—6. 3であったが、「数と式」は—22. 4%、「データの活用」は—18. 2%と差が大きかった。昨年に引き続き、基礎的な計算力の伸長が急務である。

【今後に向けて】

授業規律を確保しつつ、生徒の学力向上に向けた授業改善に向けた取組として、学びチーフコラボレーターと連携した学習会や授業支援、学力向上支援チーム事業による研究授業を行う。教員全員が年に1度以上、研究授業を行う。